

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 6年 3月 5日

事業所名 児童デイサービス『ももっこ』

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4			個別療育・集団療育・おやつ・遊びの空間をそれぞれ用意しています。
	2	職員の配置数は適切であるか	4			基準配置数に加え、より充実した療育が行えるよう加配職員を配置しています。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか		4		空間を仕切りで分けたりと構造化や視覚表示をしていますが、十分とは言えない部分もあり、引き続き検討しながら整備していきたいと思ひます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	4			空間は職員間で意見を出し合い、快適で療育活動に適したものとなるよう、常に検討し改善しています。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	4			日々の振り返りや会議で業務・環境・支援の改善に向け努めています。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4			年1回、保護者向けの評価表をまとめています。率直な意見を参考に支援や活動に取り入れています。貴重な意見を活かしていけるようこれからも全職員で検討し努めてまいります。毎日の引継ぎや毎月の職員会議でも保護者の想いを共有できるように工夫しています。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4			評価表の結果を受け、職員会議で話し合い具体的に改善していくよう努めています。また、その内容はホームページで公開しています。ご意見いただいた保護者の皆さまには貴重なご意見に感謝しております。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2		2	第三者による外部評価の取り組みは実施していませんが、療育内容等については、法人アドバイザーの大学教授の指導助言を頂き、日々の療育の改善につなげています。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4			現場との調整で可能な限り各種研修には積極的に参加するようにしています。研修参加後、他職員への伝達研修を行い、研修で得た知識を全職員で共有し支援の向上に努めています。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	4			利用開始時とモニタリングごとに保護者と面談を行い、ご家族のニーズを伺い作成しています。また、子どもの状況についてアセスメントを定期的に行って支援計画へ反映しています。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4			「NCプログラム」や「関わりレベルシート」、「スクリーニング評価」といったアセスメントツールを使用しています。適応行動尺度（VinelandⅡ）も使用できます。必要な時に使っていきたいと思ひます。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	4			ガイドラインの支援項目に沿って具体的な支援内容を設定しています。支援ツールを活用した設定を出来るように工夫しています。また、「発達支援」として、保育所等との連携も積極的に計画に入れるようにしています。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	2	2		日誌に支援計画の内容を記載して意識しながら日々の支援に取り組めるようにしています。
適切な支援の提供	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4			職員会議で話し合い、情報を共有しています。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4			季節の創作を行ったり、設定活動で感覚遊びを行ったり、色々な経験ができるように工夫しています。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	4			子どもの状態や発達状況に応じて、個別活動と集団活動の他、人との関わりレベルを把握して支援計画を作成しています。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4			支援開始前に毎日職員間で打ち合わせをし、支援内容や活動の調整などを行っています。また、その日の子どもの様子に合わせて職員間で相談し、随時活動内容の変更等も行っていきます。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4			勤務時間の違いもある為当日は難しいですが、翌日の朝に振り返りの打ち合わせを行っています。その際、引継ぎ日誌も活用して、参加できない職員とも情報の共有をしています。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	3	2		日々の療育の内容や様子など細やかな記録を心がけていますが、時間の確保が難しく十分とは言えない所もあります。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	4			半年ごとにモニタリングを行い、職員間で検討して支援計画を作成しています。
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4			児童発達支援管理責任者中心に対応しています。会議での内容は職員間で共有することも大切にしています。
関係機関や保護者との連携	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	2	2		児童発達支援管理責任者中心に、必要に応じて関係機関と連携をとっています。セルフプランの方も多いため、保護者が抱え込まないように色々な支援がある事を情報提供できるように努めています。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか				今後必要な子どもを受け入れる場合にはしっかりと連携を取っていきたいと思います。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
関係機関や保護者との連携	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	4			必要に応じて保育所等の訪問を行い、支援内容の情報共有を行っています。また、保育所等の先生に見学に来てもらっています。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	4			必要に応じて園や学校への訪問、支援会議への参加を実施しています。療育の内容についても情報提供を行い、共有できるように努めています。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		4		法人の契約する大学教授、作業療法士（OT）を招いて専門的な助言をもらい、支援に活かしています。児童発達支援センター（笠岡学園・倉敷学園）を見学し、具体的な方法を学び取り入れています。他にも、職員個々が研修したことを会議で報告してもらい、知識を拡げています。
	28	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	3	1		自立支援協議会子ども部会が開く2か月に一度の会には、児童発達支援管理責任者が参加しています。毎回興味深い内容で、職員全体に伝え共有しています。
	29	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4			お迎えの際に活動の様子をお伝えするようにしており、その中で気になる事がないかお聞きしています。保護者の方の子育て不安については、その場でお答えできるようにしています。また、即答が難しい場合には、一度時間をいただいて、専門機関の助言等を集め、お答えできるよう努めています。
	30	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか			4	ペアレントトレーニングは事業所の規模からいって取り組むのが難しい状況です。家庭内での養育の悩みや育ちの不安については、丁寧に聞き取りを行い、専門家の助言を受けながらお答えできるように努めています。定期的に保護者対象の茶話会は行っています。保護者同士が悩みを打ち明けたり、励ましあったりするよい場となっています。
保護者への説明責任等	31	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4			児童発達支援管理者を中心に説明しています。
	32	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	3			児童発達支援管理者を中心に説明しています。支援計画は、保護者の意見を取り入れながら作成するようにしています。
	33	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4			保護者の悩みなどについて、こちらからも声を掛けさせていただくこともあります。必要に応じて個別面談の機会を設けています。
	34	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	2		参加された方は悩みを打ち明けたり、励ましあったりする良い場となっています。参加者が固定されており、内容を検討する必要性を感じており、気軽に参加できる茶話会となるように工夫していきたい思います。
	35	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4			困りごとを感じている保護者にはこちらから声を掛けさせてもらっています。また、必要ならできるだけ早急に個別面談の機会を設け対応しています。その場でお答えが難しい相談については職員間で協議しお伝えするようにしています。また、家族へ伝えた内容について職員間で共有しています。

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
36	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		4		法人として定期的に会報を発行し、玄関に置いております。また、ホームページやSNSも使い、広く広報しています。療育内容や連絡事項については、保護者に連絡帳アプリで様子をお伝えするなどしています。	
	個人情報の取扱いに十分注意しているか	4			法人として、個人情報保護の規定を設け、順守しています。保護者には、同意書をいただき、それに基づいて適切に運用しています。SNSの発信時には個別に確認を取り、了承を得ています。	
38	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4			必要に応じて視覚支援ツールを使用しています。児童との関わり方や保護者への伝達したこと等、職員間で共有しています。	
	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4			事業所が行っているももっこまつりには、卒園児や保護者の知り合いの方なども参加され盛り上がりました。地域の園や店舗にも案内を配布し参加を呼び掛けています。	
非常時の対応	40	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか		4		ガイドラインに沿って、各種マニュアルを策定しています。保護者の方がいつでも閲覧できるように準備をすすめています。保護者・職員への周知については、更に機会を設けて行っていきます。
	41	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4			年間計画に沿って、計画的に実施しています。
	42	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	1	3		契約時に服薬やてんかん発作等の聞き取りを実施しています。発作が起きた場合の対応は、空間内に掲示しています。
	43	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		4		保護者からの情報提供によって対応しています。
	44	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		4		日々の引継ぎの中で確認しています。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4			法人全体で年3回、虐待防止研修を行っています。研修で得た事を職員間で深め共有できるよう、事業所会議の場でも確認しています。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	4			契約時に説明しています。法人全体での研修に参加しています。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの児童発達支援事業所評価アンケート

事業所名 児童デイサービス『ももっこ』

保護者等数(児童数) 37 回収数 29 割合 78 %

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	23	4		2	・室内の活動、外遊びができるスペースもあるので、十分確保されていると思う。 ・学ぶスペース・遊ぶスペース十分に確保されています。 ・野外は十分に確保できているように思うが、室内は少し狭く感じた。 ・外あそびができるスペースもあり、充実している。	個別療育・集団療育・おやつ・遊びの空間をそれぞれ用意しています。また、天気の良い日には外の広場を使って自由に体を動かす時間も設けています。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	26	1		2	・手厚くしっかりみてくださっています。	基準配置数に加え、より充実した療育が行えるよう加配職員を配置しています。日により職員数に変動がありますが、お子さまの様子の状況共有できるように努めています。
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境*1になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	27			2	・とても分かりやすい構造になっています。 ・個別や集団など部屋がわかれていて子どもにとって理解しやすいと思う。	利用されているお子さんがわかりやすい空間の構造化や視覚表示など行っています。また、常により使いやすく療育の効果が上がるよう改善していきます。バリアフリーではありませんが、安全に過ごせるよう必要な場面では付き添い配慮しています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	26			4	・常に清潔です。 ・明るい光が差し込こんでいて広い園庭が気に入っています。	空間は職員間で意見を出し合い、快適で療育活動に適したものとなるよう、常に検討し改善しています。以前来られた方が、また来られた時には違いに気づくかもしれませんね。
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	26	1		2	・子どもの発達の合わせて、また保護者の希望も聞いてくださっている。 ・話し合って計画表を作成してもらっています。 ・専門的なことはよくわかりませんが話はよくきいてくださるので信頼しています。 ・まだ計画書を見せていただいていない。	利用開始時とモニタリングごとに保護者と懇談を行い、ご家族のニーズを伺い作成しています。また、お子さんの状況についてアセスメントを定期的に行い支援計画へ反映しています。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	25	2		2		事務所で閲覧できるように設置準備をすすめていますが、「児童発達支援ガイドライン」について、説明不足でした。分かりやすく伝えられるように努めてまいります。ガイドラインの支援項目に沿って具体的な支援内容を設定しています。その際、支援ツールを活用して設定をできるように工夫しています。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか。	25	2		2		支援計画に沿った支援とするために、日誌に支援計画を記載し、職員間で共有できるようにしています。毎日の職員間の打ち合わせで確認しています。
適切な支援の提供	8 活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	27	1		2	・様々な活動、課題に取り組んでくださっています。 ・毎月プログラムを変えていただいています。	お子さんの状況や活動グループに合わせて創意工夫し、内容や組み合わせを変え日々の活動に活かしています。
	9 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	29				・とても丁寧に説明があり、家での接し方も参考になっている	毎回、保護者の方とのお話の時間を取らせてもらい、支援の内容について、ご説明しています。
保護者への説明等	10 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	26	1		2		「児童発達支援ガイドライン」について、説明不足でした。分かりやすく伝えられるように努めてまいります。ガイドラインで示されたねらいや支援内容については、支援計画の中に盛り込むようにしています。
	11 保護者に対して家族プログラム(ペアレント・トレーニング*4)が行われているか	21	2		6	・とてもさりげなく、家庭に様子を聞いてくれて、アドバイスを頂ける。助かります。	ペアレントトレーニングは事業所の規模からいって取り組むのが難しい状況です。家庭内での養育の悩みや育ちの不安については、丁寧に聞き取りを行い、専門家の助言を受けながらお答えできるように努めています。定期的に保護者対象の茶話会を行っています。保護者同士が悩みを打ち明けたり、励ましあったりするよい場となっています。
	12 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	28	1			・子どもの状況、保護者の困り感など日々親身になって聞いてくださっています。 ・いつも一緒になって喜んで下さったり、大変な時に相談に乗っていただいたり本当に良くしていただいている通わせてよかったなあと思います。 ・日頃の様子は相互理解できていると思うが、通常の発達のどの段階に今いるのか、専門の意見を頂けると嬉しいです。	保護者の方の日々の子育ての悩みや分からないことについて、できる限りお伝えできるよう努めています。その場でお答えが難しい相談については職員間で協議したり、専門の人に確認する等してお答えするようにしています。また、保護者へ伝えた内容については職員間で共有しています。保護者の方に気になることがあるようでしたら、できるだけ早急に個別面談の機会を設けて対応しています。
	13 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	27	2			・帰りに相談にのっていただいています。 ・とても助けられています！進路の相談とても助かりました。	半年に一度、保護者の方と懇談を行っています。また、ご要望があれば、その都度懇談の機会を設けています。お気軽にお声かけいただければと思います。
	14 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	23	4		2	・茶話会など計画していただいています。 ・1月にある、参観+保護者会、楽しみにしています。	これからも皆さんがほっとしたり、ほんの少し元気になれるよう茶話会等の場を設けていきたいと思っています。参観＆茶話会はお子さまの成長を感じていただける機会、保護者の方々の交流の機会としても開催を続けていきたいと思っています。
保護者への説明等	15 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明し、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	27			2	・毎回説明の時間があるので相談しやすいです。先生の方から何かありますか？と言って頂けるのもありがたい。	ご意見をいただいた場合には、より迅速に対応できるよう努めております。その場での回答が難しい場合には、職員間で検討、共有し出来るだけ次回のご利用時にはお伝えできるようにしております。連絡帳アプリも活用して早く対応できるように努めています。

		チェック項目	ご意見				ご意見を踏まえた対応	
			はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		
説明等	16	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	29				お子さんには必要に応じて視覚支援ツールを使用しています。保護者の方とは、毎回お話をさせていただいています。直接のお話だけではなく、携帯アプリでのやりとりや電話でも情報のやりとりをしています。他に手段として必要であれば、その都度取り入れていきたいと思っています。	
	17	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	22			7	法人として定期的に会報を発行しております。玄関に置いておりますのでお手にとっていただければと思います。自己評価結果については法人のホームページに掲載していますので、ご確認くださいと思います。	
	18	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	26			3	法人として、個人情報保護の規定を設け、順守しています。保護者には、契約時に同意書をいただき、それに基づいて適切に運用しています。	
非常時等の対応	19	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	17	2	1	9	「児童発達支援ガイドライン」に沿って、各種マニュアルを策定しています。保護者の方がいつでも閲覧できるように準備を進めていきたいと思っています。訓練は計画的に行っています。	
	20	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行い、結果を公開しているか。	14	3	1	11	年間計画に沿って、計画的に実施しています。結果は玄関に掲示していますが、ご案内が十分でなかったようです。大切なことなので、お伝えする機会を持っていきたいと思っています。	
満足度	21	子どもは通所を楽しみにしているか	23			1	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回楽しく通所できています。 ・毎回通所を楽しみにしています。 ・毎回とても楽しみにして、行くのが楽しみです。 ・とても楽しみにしています。 ・嫌がったことは一度もないです！1日の終わりにももっこのことを聞くととてもうれしそうにしています。 	たくさんのお褒めのご意見、ありがとうございます。みなさんの言葉を励みにこれからも職員一同、微力ながらお力になれるよう努めてまいります。
	22	事業所の支援に満足しているか	29				<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの発達に合わせて活動していただき、保護者にも寄り添った対応をしてくださっています。 ・就学に向けての支援をしていただき、ありがとうございます。 ・いつもとても良くしていただいているので、安心して通わせられています。ありがとうございます。 ・とても満足しています。 ・満足しています。 ・いつもありがとうございます。 ・いつもありがとうございます。いつも活動内容や子どもの様子を細かく丁寧に教えて下さり、ありがたいです。実際様子はまだ見たことがないので1月の参観日を楽しみにしています。 	ご意見ありがとうございます。保護者の方の悩みや不安な気持ちを少しでも和らげることができればと思っています。一番は、お子さんが元気に楽しく過ごせることだと思っています。保護者の皆さん、お子さんの成長を分かち合い、一緒に子育てを楽しんでいきましょうね。

○この「保護者等からの事業所評価の計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

*1 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など子ども本人にわかりやすくすることです。

*2 「児童発達支援計画」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

*3 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

*4 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。